



2026年6月22日

各 位

会 社 名 株式会社フォーバル

代表者名 代表取締役社長 中島 將典

(コード番号：8275 東証スタンダード)

問合せ先 常務執行役員グループ財務戦略統括部長

赤井 祐貴

電話 03-3498-1541

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、資本収益性や市場評価に向けた具体的な取組みや推移について取りまとめましたので公表いたします。

### 記

当社は、企業価値の維持向上につとめ、資本構成（自己資本比率）、資本効率（株主資本利益率（ROE）等）、株主還元（配当、自己株式取得等）の最適なバランスを考慮した経営を行っています。

フォーバルグループは、「企業ドクター」として企業経営を支援し、中小・小規模企業のお客様の利益に貢献することを目指しています。特に現在は、政府の「経済財政運営と改革の基本方針2025～「今日より明日はよくなる」と実感できる社会へ～」に則ってF-Japan戦略を推進し、特に「グリーン」「デジタル」「活力ある地方創り」「少子化対策」に着目し、産（民間企業）・官（自治体）・学（教育機関）・金（金融機関）との連携のもと、「企業版医療機関」を創設し、中小・小規模企業に対して「可視化伴走型支援」の提供を通じて、GX（グリーントランスフォーメーション）とDX（デジタルトランスフォーメーション）、人的資本、ESG経営の実現に貢献してまいります。伴走型経営アドバイスによる顧客である中小・小規模企業の利益向上、成長が当社の成長につながるものと考えており、そのためF-Japan戦略に積極的に投資するために、資本収益性を意識した経営を行っています。

株主をはじめとするステークホルダーの期待に応え、持続的な成長と企業価値向上を実現するために、経営資源の配分である配当施策を実施し、また役員、従業員に対し中長期的なインセンティブの付与および株主価値の共有を目的として譲渡制限付株式報酬制度を導入しています。

なお、当社の事業環境における経営状況の変化は激しく、柔軟な対応を維持するため、経営計画に関する具体的な数値は公表していません。

資本収益性および市場評価の推移等詳細は添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」をご参照ください。

以 上



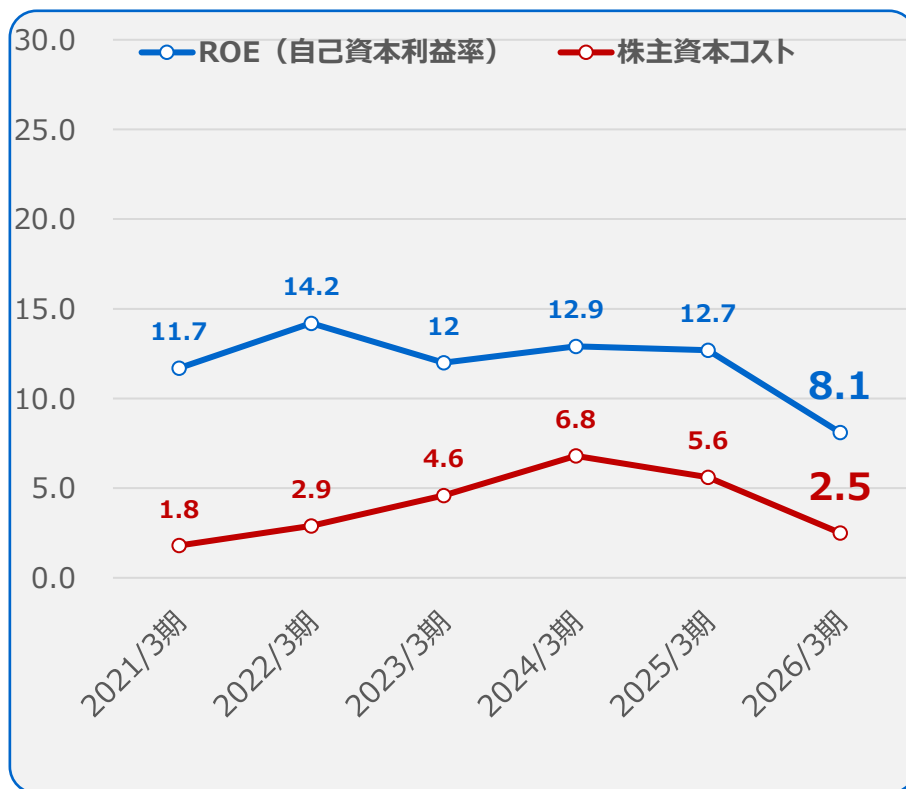
「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創る

# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

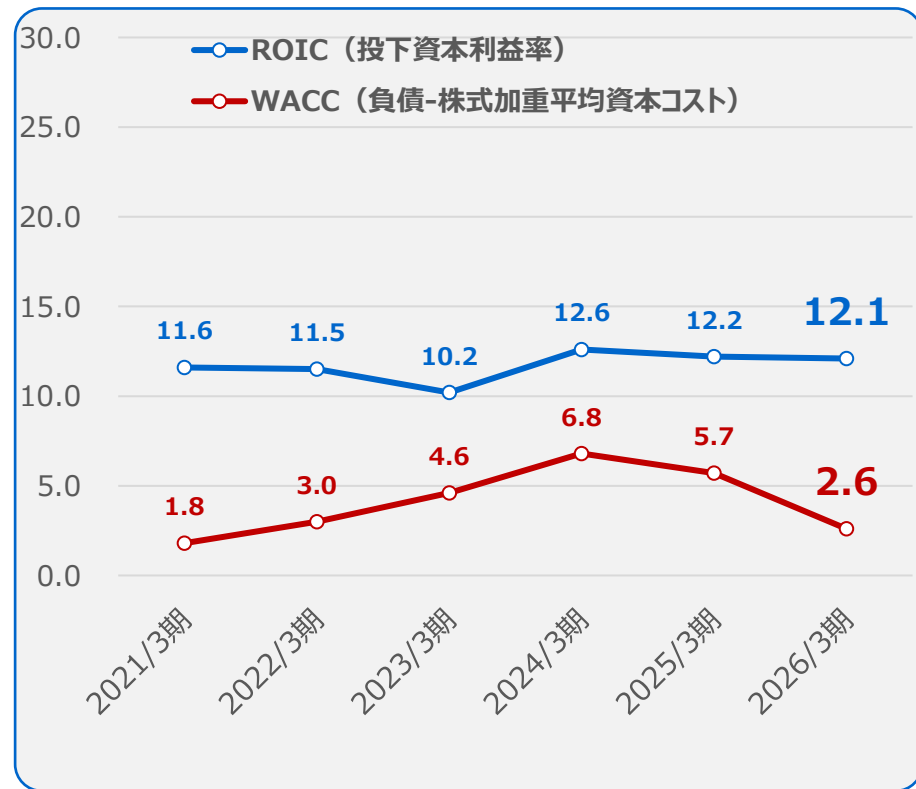
株式  
会社 **フォーバル**

## ■ 資本コストと資本収益性

2026年3月期のROICは、可視化伴走型経営支援事業（アイコンサービス）が順調に進展したこと等により売上総利益が増加した一方で人員増強等により営業利益が減少し前年同期比△0.1となっております。中小企業のESG経営支援の企業ドクターとして確固たる地位の確立を目指すことに投資を集中することで、資本コストを上回る資本収益性の継続的向上を目指します。



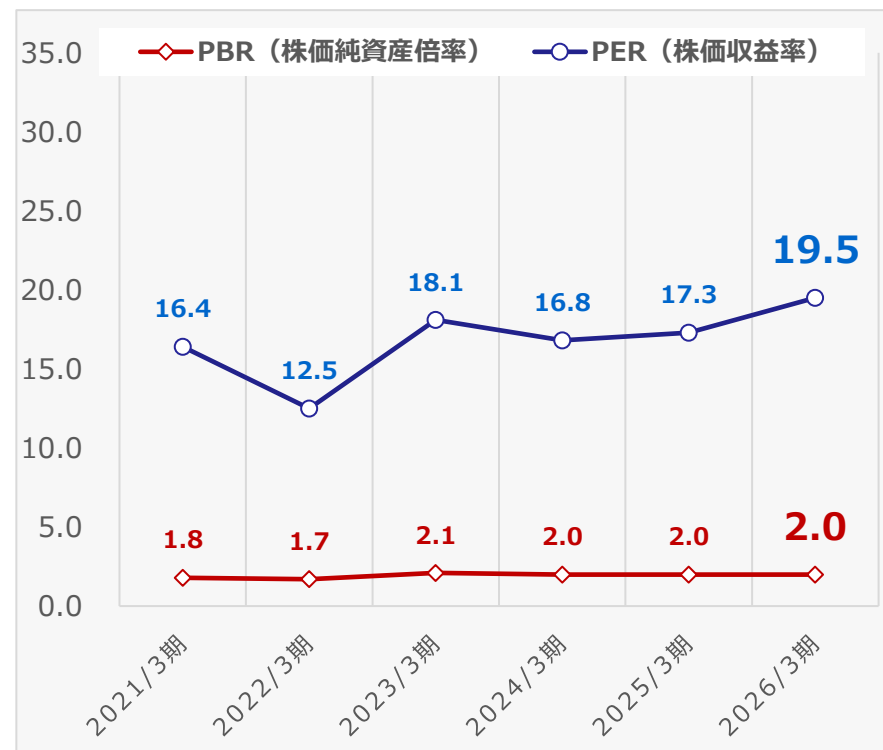
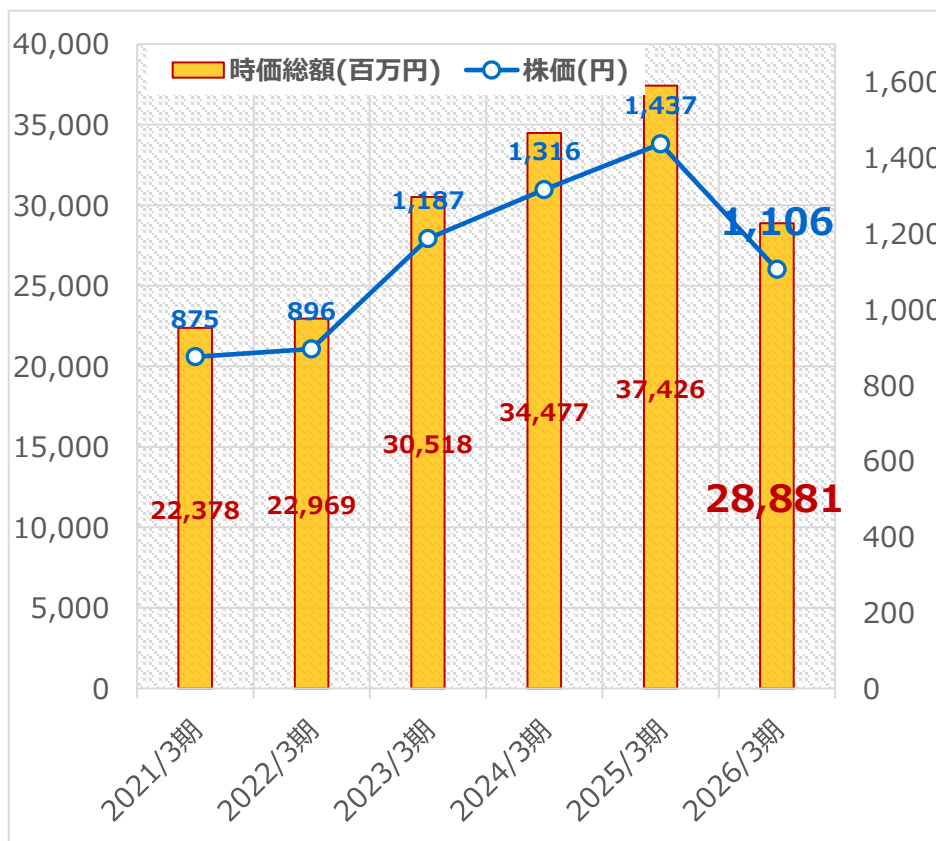
ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本 (期首期末平均)



ROIC = 税引後営業利益 ÷ 投下資本 (有利子負債 + 自己資本)

## 市場評価

当社は代表取締役が中心となって決算説明会等を通して株主・投資家と業績や今後の成長戦略に関する建設的な対話を行っております。F-Japan戦略による企業価値を持続的に高め、株主・投資家との主体的かつ効果的な対話を行うことで市場評価を得られるよう引き続き努めてまいります。



PBR = 期末株価 (調整後) ÷ 一株当たり純資産

PER = 期末株価 (調整後) ÷ 一株当たり当期純利益

## ■ 配当・配当性向・純資産配当率

当社は、配当による株主の皆様への利益還元を重要な経営課題のひとつと認識しております。加えて今後の事業計画、財務状況等、中長期的観点から内部留保と安定した成果配分、双方のバランスにも配慮して配当金を決定しております。2026年3月期の配当につきましては、この方針を踏まえ、前年と比較し1円増配の1株当たり31円とさせていただきました。

